

Xperia Ace III SO-53Cについて

Xperia Ace III SO-53Cは、ドコモから発売されたソニー製のスマートフォンです。Googleが提供するスマートフォン向けOS「Android」を搭載しています。



SO-53Cの各部名称を覚える



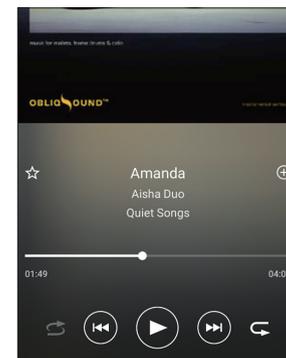
1 ヘッドセット接続端子	9 メインカメラ
2 受話口	10 フラッシュ／フォトライト
3 近接／照度センサー	11 音量キー／ズームキー
4 通知LED	12 電源キー／指紋センサー
5 フロントカメラ	13 NFCマーク
6 ディスプレイ（タッチスクリーン）	14 USB Type-C接続端子
7 送話口／マイク	15 nanoUIMカード／microSDカード挿入口
8 スピーカー	

SO-53Cの特徴

Xperia Ace III SO-53Cは、Android 12を搭載したスマートフォンです。コンパクトサイズながらもフレームいっぱい広がるディスプレイが特徴で、指紋認証やおサイフケータイなど、必要な機能を十分に備えています。また、高性能の明るいレンズを搭載し、シーンに合わせた最適な設定で写真を撮影することができます。もちろん、従来の携帯電話のように通話やメール、インターネットも利用できます。なお、本書ではSO-53Cと型番で表記します。



コンパクトサイズにもかかわらず大きな画面を搭載。Webページや地図なども見やすく表示できます。



3.5mmオーディオジャックを搭載しているため、お手持ちのヘッドフォンをそのまま使用できます。



高性能の明るいレンズを搭載し、シーンに応じた最適な設定で写真を撮影することができます。



4,500mAhの大容量バッテリーを搭載し、独自の充電最適化技術により劣化しにくくなっています。

電源のオン・オフと ロックの解除

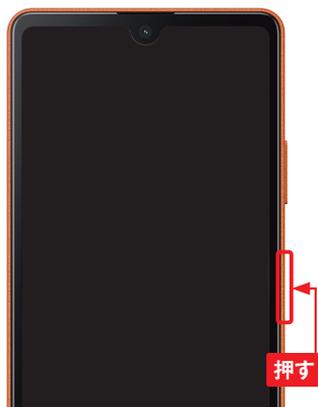
電源の状態には、オン、オフ、スリープモードの3種類があります。3つのモードは、すべて電源キー／指紋センサーで切り替えが可能です。一定時間操作しないと、自動でスリープモードに移行します。



1

1 ロックを解除する

- ① スリープモードで電源キー／指紋センサーを押します。



- ② ロック画面が表示されるので、画面を上方向にスワイプ (P.13参照) します。



- ③ ロックが解除され、ホーム画面が表示されます。再度、電源キー／指紋センサーを押すと、スリープモードになります。



MEMO スリープモードとは

スリープモードは、画面の表示が消えている状態です。バッテリーの消費をある程度抑えることはできますが、通信などは行われており、スリープモードを解除すると、すぐに操作を再開することができます。また、操作をしないと一定時間後に自動的にスリープモードに移行します。

2 電源を切る

- ① 電源が入っている状態で、電源キー／指紋センサーと音量キーの上を同時に押します。



- ② メニューが表示されるので、「電源を切る」をタップすると、完全に電源がオフになります。



- ③ 電源をオンにするには、電源キー／指紋センサーをSO-53Cが振動するまで押します。



MEMO ロック画面からのカメラの起動

ロック画面から直接カメラを起動するには、ロック画面で📷をロングタッチします。



SO-53Cの基本操作を覚える

SO-53Cのディスプレイはタッチスクリーンです。指でディスプレイをタップすることで、いろいろな操作が行えます。また、本体下部にある3種類のキーアイコンの使い方も覚えましょう。



1 キーアイコンの操作



戻る ホーム 履歴

MEMO 画面の回転

SO-53Cの向きと表示している画面の向きが異なると、「画面を回転」というキーアイコンが表示される場合があります。これをタップすると、SO-53Cの向きに合わせて縦または横に画面が回転します。



キーアイコンとその主な機能

	戻る	タップすると直前に操作していた画面に戻ります。メニューや通知パネルなどを閉じることもできます。
	ホーム	タップするとホーム画面が表示されます。ロングタッチするとGoogleアシスタントが利用できます (P.112参照)
	履歴	ホーム画面やアプリを使用中にタップすると、最近使用したアプリがサムネイルで一覧表示されます (P.21参照)。

2 タッチスクリーンの操作

タップ/ダブルタップ

タッチスクリーンに軽く触れてすぐに指を離すことを「タップ」、同操作を2回くり返すことを「ダブルタップ」といいます。



ロングタッチ

アイコンやメニューなどに長く触れた状態を保つことを「ロングタッチ」といいます。



ピンチ

2本の指をタッチスクリーンに触れたまま指を開くことを「ピンチアウト」、閉じることを「ピンチイン」といいます。



スクロール (スライド)

文字や画像を画面内に表示しきれない場合など、タッチスクリーンに軽く触れたまま特定の方向へなぞることを「スクロール」または「スライド」といいます。



スワイプ (フリック)

タッチスクリーン上を指ではらうように操作することを「スワイプ」または「フリック」といいます。



ドラッグ

アイコンやバーに触れたまま、特定の位置までなぞって指を離すことを「ドラッグ」といいます。



電話をかける・受ける

電話操作は発信も着信も非常にシンプルです。発信時はホーム画面のアイコンからかんたんに電話を発信でき、着信時はドラッグまたはタップ操作で通話を開始できます。



電話をかける

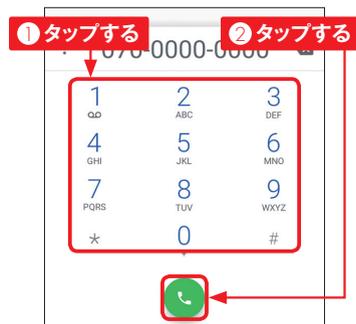
- ① ホーム画面で電話アイコンをタップします。



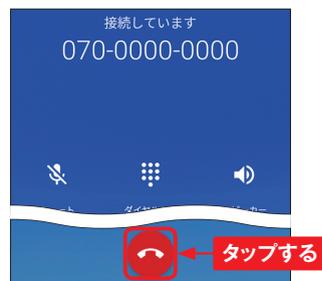
- ② 「電話」アプリが起動します。電話アイコンをタップします。



- ③ 相手の電話番号をタップして入力し、電話アイコンをタップすると、電話が発信されます。



- ④ 相手が応答すると通話が始まります。電話アイコンをタップすると、通話が終了します。



電話を受ける

- ① 電話がかかってくると、着信画面が表示されます（スリープモードの場合）。着信画面を上方方向にスワイプします。また、画面上部に通知が表示された場合は、「電話に出る」をタップします。



- ② 相手との通話が始まります。通話中にアイコンをタップすると、ダイヤルキーなどの機能を利用できます。



- ③ 電話アイコンをタップすると、通話が終了します。



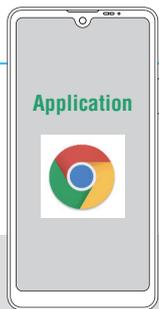
MEMO スグ電とは

SO-53Cでは、着信中に特定のジェスチャーを行うことで、電話に応答したり、拒否したりできる「スグ電」が利用可能です。P.44 手順①を参考に「電話」アプリを起動し、右上の⋮をタップし、[設定] → [通話] → [スグ電設定] の順にタップして設定を行うことで、下記のようなジェスチャーで操作できます。

耳元に当てる	電話に応答する
2回振る／ 下向きに置く	通話を終了する ／着信音を消す

Webページを閲覧する

SO-53Cでは、「Chrome」アプリでWebページを閲覧できます。Googleアカウントでログインすることで、パソコン用の「Google Chrome」とブックマークや履歴の共有が行えます。



Webページを閲覧する

- 1 ホーム画面を表示して、をタップします。初回起動時はアカウントの確認画面が表示されるので、「同意して続行」をタップし、「Chromeにログイン」画面でアカウントを選択して「有効にする」をタップします。



- 2 「Chrome」アプリが起動して、Webページが表示されます。「アドレスバー」が表示されない場合は、画面を下方向にスクロールすると表示されます。



- 3 「アドレスバー」をタップし、WebページのURLを入力して、をタップします。

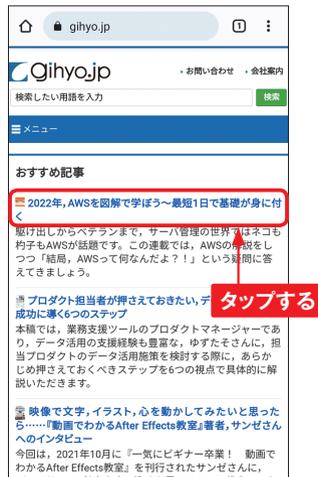


- 4 入力したURLのWebページが表示されます。



Webページを移動・更新する

- 1 Webページの閲覧中に、リンク先のページに移動したい場合、ページ内のリンクをタップします。



- 2 ページが移動します。◀をタップすると、タップした回数分だけページが戻ります。



- 3 画面右上のをタップして、→をタップすると、前のページに進みます。



- 4 をタップして、をタップすると、表示しているページが更新されます。



MEMO 「Chrome」アプリの更新

「Chrome」アプリの更新がある場合、手順①の画面で、右上のがになっていることがあります。その場合は、 → [Chromeを更新] → [更新]の順にタップして「Chrome」アプリを更新しましょう。

SO-53Cで使える メールの種類

SO-53Cでは、ドコモメール (@docomo.ne.jp) やSMS、+メッセージを利用できるほか、GmailおよびYahoo!メールなどのパソコンのメールも使えます。



ドコモメール

ドコモの提供するメールです。「@docomo.ne.jp」のアドレスが使えます。iモードと同じアドレスが使用可能です。



SMSと+メッセージ

相手の携帯電話番号宛にメッセージを送信します。従来のSMSとそれを拡張した+メッセージ (P.77 MEMO参照) を利用できます。



Gmail

Googleが提供するメールです。SO-53CにGoogleアカウントを設定すればすぐに利用できます。



PCメール

パソコンで使用しているメールが使えます。複数のメールアカウントを登録することも可能です。



MEMO

+メッセージについて

+メッセージは、従来のSMSを拡張したものです。宛先に相手の携帯電話番号を指定するのはSMSと同じですが、文字だけしか送信できないSMSと異なり、スタンプや写真、動画などを送ることができます。ただし、SMSは相手を問わず利用できるのに対し、+メッセージは、相手も+メッセージを利用している場合のみやり取りが行えます。相手が+メッセージを利用していない場合は、SMSとして文字のみが送信されます。

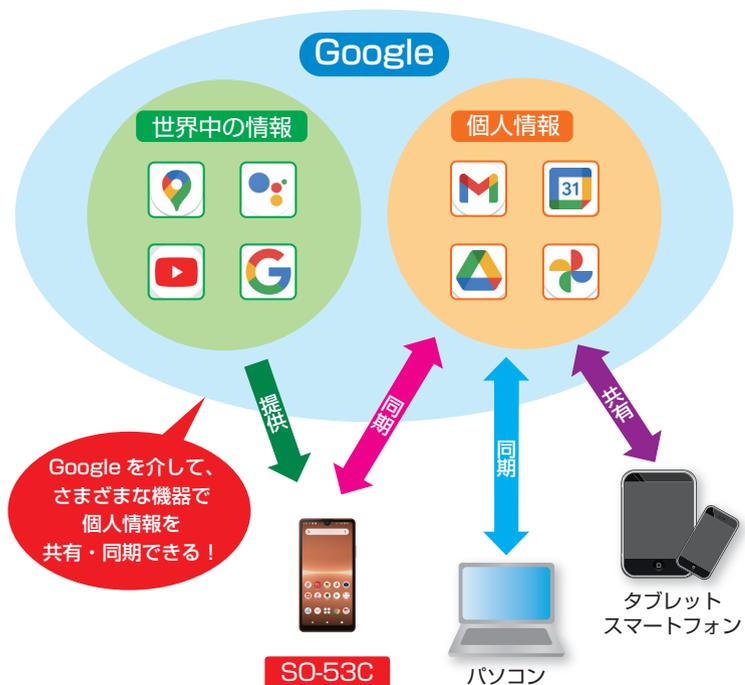
Googleのサービスとは

Googleは、地図、ニュース、動画などのさまざまなサービスをインターネットで提供しています。専用のアプリを使うことで、Googleの提供するこれらのサービスをかたんに利用することができます。



Googleのサービスでできること

GmailはGoogleの代表的なサービスですが、そのほかにも地図、ニュース、動画、SNS、翻訳など、さまざまなサービスを無料で提供しています。また、連絡先やスケジュール、写真などの個人データをGoogleのサーバーに保存することで、パソコンやタブレット、ほかのスマートフォンとデータを共有することができます。



Googleのサービスと対応アプリ

Googleのほとんどのサービスは、Googleが提供している標準のアプリを使って利用できます。最初からインストールされているアプリ以外は、Google Playからダウンロードします(P.102 ~ 104参照)。

サービス名	対応アプリ	サービス内容
Google Play	Playストア	アプリ、書籍、映画のダウンロード
Gmail	Gmail	Googleアカウントをアドレスにしたメールサービス
Googleマップ	マップ	地図情報サービス
Googleカレンダー	Googleカレンダー	スケジュール管理
Google ToDoリスト	ToDoリスト	タスク (ToDo) 管理
YouTube	YouTube	動画の投稿・配信サービス
YouTube Music	YouTube Music (YT Music)	音楽やミュージックビデオの配信サービス
Google翻訳	Google翻訳	多言語対応の翻訳サービス
Googleフォト	Googleフォト	写真・動画のバックアップ
Googleドライブ	Googleドライブ	文書作成・管理・共有サービス
Google Meet	Google Meet / Gmail	オンラインビデオ会議サービス
Google Keep	Google Keep	メモ作成サービス

MEMO

Googleのサービスとドコモのサービスのどちらを使う?

「ドコモ電話帳」アプリと「スケジュール」アプリのデータの保存先は、Googleとドコモで同様のサービスを提供しているため、どちらか1つを選ぶ必要があります。ふだんからGoogleのサービスを利用して、それらのデータを連携させたい人はGoogleを、Googleのサービスはあまり利用しておらず、ドコモのサービスを中心に利用している人はドコモを選ぶとよいでしょう。Googleのサービスを利用する場合は、連絡先を保存するアカウント (P.54手順②参照) でGoogleアカウントを選び、スケジュール管理には「Googleカレンダー」アプリを使ってください。一方、ドコモのサービスを利用する場合は、連絡先を保存するアカウントで「docomo」を選び、スケジュール管理に「スケジュール」アプリを使います。

dメニューを利用する

SO-53Cでは、ドコモのポータルサイト「dメニュー」を利用できます。dメニューでは、ドコモのサービスにアクセスしたり、メニューリストからWebページやアプリを探したりすることができます。



5 メニューリストからWebページを探す

- 1 ホーム画面で「dメニュー」をタップします。「dメニューお知らせ設定」画面が表示された場合は、「OK」をタップします。



- 2 「Chrome」アプリが起動し、dメニューが表示されます。[すべてのサービス]をタップします。



- 3 「メニューリスト」をタップします。



MEMO dメニューとは

dメニューは、ドコモのスマートフォン向けのポータルサイトです。ドコモおすすめのアプリやサービスなどをかんたんに検索したり、利用料金の確認などができる「My docomo」(P.124 参照)にアクセスしたりできます。

- 4 「メニューリスト」画面が表示されます。画面を上方向にスクロールします。



- 5 閲覧したいWebページのジャンルをタップします。



- 6 一覧から、閲覧したいWebページのタイトルをタップします。アクセス許可が表示された場合は、「許可」をタップします。



- 7 目的のWebページが表示されます。◀を何回かタップすると一覧に戻ります。



写真や動画を撮影する

SO-53Cは高性能なカメラを搭載しています。シャッターボタンをタップするだけで、シーンに合わせた最適な設定で写真や動画を撮ることができます。



「カメラ」アプリの初期設定を行う

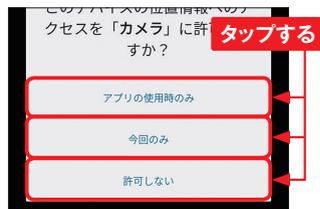
- ① ホーム画面で「カメラ」をタップします。



- ② 「撮影場所を記録しますか?」と表示されたら、[いいえ]もしくは[はい]をタップします。



- ③ 位置情報のアクセスに関する画面が表示されたら、いずれかをタップするとカメラが利用できるようになります。



MEMO ジオタグの有効/無効

手順②で [はい]、手順③で [アプリの使用時のみ] が [今回のみ] をタップすると、撮影した写真に撮影場所の位置情報(ジオタグ)が記録されます。位置を知られたくない場所で撮影する場合は、オフにしましょう。ジオタグのオン/オフは、P.141手順③の画面で [位置情報を保存] をタップすることでも変更できます。

写真を撮影する

- ① P.140を参考に「カメラ」アプリを起動します。画面をタップし、ピンチイン/ピンチアウトすると、ズームアウト/ズームインでき、画面上に倍率が表示されます。



- ② ピントを合わせたい場所がある場合は、画面をタップするとすぐにピントが合います。[OK]をタップすると、写真が撮影されます。



- ③ 写真を撮影すると、画面右下に撮影した写真のサムネイルが表示されます。撮影を終了するには [OK] をタップします。



MEMO 保存先や各種設定の変更

撮影した写真をmicroSDカードに保存したい場合は、P.141手順③の画面で [設定] をタップし、[保存先] → [SDカード] の順にタップします。そのほか、設定画面では画像のサイズや位置情報の保存のオン/オフ、グリッドラインの表示など、さまざまな設定が変更できます。

ホーム画面を カスタマイズする

アプリ一覧画面にあるアイコンは、ホーム画面に表示することができます。ホーム画面のアイコンは任意の位置に移動したり、フォルダを作成して複数のアプリアイコンをまとめたりすることも可能です。

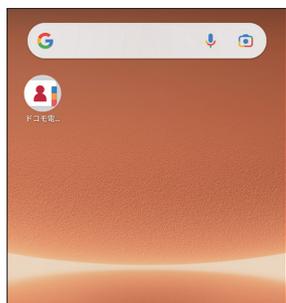


アプリアイコンをホーム画面に表示する

- ① ホーム画面で[アプリ一覧ボタン]をタップしてアプリ一覧画面を表示します。移動したいアプリアイコンをロングタッチし、[ホーム画面に追加]をタップします。



- ② アプリアイコンがホーム画面上に表示されます。



- ③ ホーム画面のアプリアイコンをロングタッチします。



- ④ ドラッグして、任意の位置に移動することができます。左右のホーム画面に移動することも可能です。



アプリアイコンをホーム画面から削除する

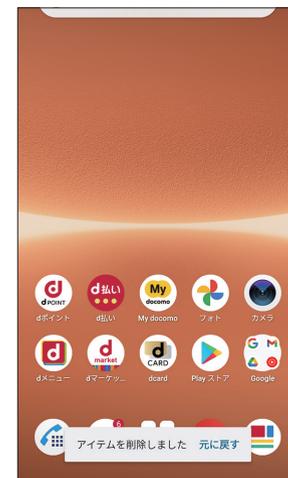
- ① ホーム画面から削除したいアプリアイコンをロングタッチします。



- ② 「削除」までドラッグします。



- ③ ホーム画面上からアプリアイコンが削除されます。



MEMO アイコンの削除とアプリのアンインストール

手順②の画面で「削除」と「アンインストール」が表示される場合、「削除」にドラッグするとアプリアイコンが削除されますが、「アンインストール」にドラッグするとアプリそのものが削除(アンインストール)されます。

